

令和元年度 地域懇談会 報告書

地域名	柏市新田原地域ふるさと協議会
日時	令和元年8月8日（木）10時00分～11時30分
場所	新田原近隣センター 会議室A
参加者	ふるさと協議会役員等 : 8名 地域づくり推進部長 : 1名 新田原近隣センター所長 : 1名 社会福祉協議会職員 : 1名 地域支援課職員 : 6名 地域づくりコーディネーター : 2名 合計 : 19名
次第	別紙のとおり
意見交換	ふるさと協議会役員 ・ふるさと協議会の組織体制を整理した。 (1) 富里ふるさと協議会で事務局を設置したという例を参考に平成27年に事務局を設置したが、実践の中でやるべきことを整理していたため、事務局が機能するまでには時間がかかった。 (2) 平成19年に保健福祉部を設立した。かつて保健福祉部は総務部の下にある広報部や体育部等と同格であったが、これについても富里ふるさと協議会の例にならい、格上げをした。 (3) 令和元年度、支え合い事業やひまわりの会の活動を充実させるため、地域支援事業部を設立することが総会で決定した。 ・各町会で町会長の高齢化が進んでいるため、次の担い手探しに苦勞している。各町会に対して、ふるさと協議会として立ち入って指導することはできないが、理事会（各町会長の集まり）で情報交換はしている。 ・ふるさと協議会と町会の役割が住民の方々にとっては区別がないように感じる。住民の方々にサロンには参加してもらっているものの、ふるさと協議会の認知度は低いようだ。 ふるさと協議会役員 ・町会の集まりで「ふるさと協議会って何？」と聞かれた。町会のイベントには参加してくれるが、ふるさと協議会となると人集めが難しくなる。また、参加してくれる人は決まった人になってしまう。どのようにして、参加者の輪を広げていくかが課題。

ふるさと協議会役員

- ・運動会は子ども会と連携して開催している。多くの方々が来場している。賞品の準備には力を入れており、1日だけのイベントだが、たくさん子どもやお父さん・お母さん方が来場される。

ふるさと協議会役員

- ・子どものイベントだと若いお父さん・お母さんが参加してくれる。

柏市職員

- ・南部ふるさと協議会でその地域に住む保護者の方々にアンケートをとったところ、ふるさと協議会の認知度は約4割だった。南部ふるさと協議会で開催している南部まつりは知っているが、ふるさと協議会が開催していることについては知らないという方が多かった。行事には参加するが、それがふるさと協議会の認知度向上にはなかなか繋がりにくいということは他の地域でもあるのだなと思った。

ふるさと協議会役員

- ・「ふるさと協議会」という名前と活動の仕方は柏市だけであり、それがふるさと協議会の知名度が上がらない理由の一つだと思う。他市に視察で行くと、柏市でふるさと協議会がやっているようなことは全て社協がやっているという。しかし、反対に考えると「ふるさと協議会」という名前と活動の仕方は、柏市が日本で唯一取り組んでいるものだとPRすることもできると思う。
- ・広報部では新聞の作成をすべて業者に依頼していたが、パソコンやスマートフォン等が普及したことで、得意な方が自分たちで作るということがある。一方で、そうした時代の流れに適応しきれていない人もおり、今は過渡期を迎えていると感じる。
- ・地域の特性により町会長の役割への理解がちがうことがある。
- ・以前、ふるさと協議会と町会の温度差が弱点と聞いたことがある。

柏市職員

- ・過渡期ではないかというお話いただいたが、何を広報の媒体にすると一番見てもらえるのかと考えるときに、今は選択肢が非常に多い。紙媒体を見る方・見ない方がいて、行政も情報発信の仕方を工夫しているところ。いろいろなところで価値観が変わって

きていると感じる。

ふるさと協議会役員

- ・近隣センターが出来たとき「ふるさとを意識した地域づくりを」という目的でふるさと協議会ができた。「町会ではできないことを地域単位で行う」というふるさと協議会の役割自体は、設立当時から今も変わっていないと思う。
- ・市は地域に対して抽象的には考えてくれているが、もっと具体的な提案（コンサルティング）をしてほしい。他の地域のノウハウ等もっと提供してほしい。

柏市職員

- ・ふるさと協議会は、ほぼ柏市だけのもの。町会単体で地域づくりを行うのではなく、地域性の近い人たちが広域で取り組むことでより住民に沿った街づくりができるのではないかということでも17地区のふるさと協議会ができ、活動拠点の近隣センターができて市が支援するという形ができていったのだと思う。町会とふるさと協議会がうまく活動のすみわけをできていければと思う。
- ・秋谷さんからお話があった「他のふるさと協議会や町会がどのような活動をしているのか分かりにくい」という状況は確かにあった。ふるさと協議会については柏市ふるさと協議会連合会で情報交換ができるよう、横のつながりを意識して、視察研修や年に数回ある研修の場で他の地域がどうしているのかについて議論できる機会を作っている。
- ・町会単体の事例だと、柏市地域協働を考える会という市民団体と協働して、町会の方にインタビューをして事例を集めている。また、相談窓口を月に二回ご用意し、お悩みごとにお答えできるような場所を作っている。

ふるさと協議会役員

- ・町会長会議で市長が説明していたのに対して熱意を感じた。これまであった向こう三軒両隣の組織が崩れつつあり、高齢化が進む今、孤立化を防ぐには、地縁組織が大事だと感じる。
- ・行政側が考えたことを市民に浸透させようとするときの窓口は近隣センターやふるさと協議会なので、行政と接触する機会は多く、その中で地域をわかろうとしてくれる姿勢はうれしい。社協の渡

邊さんは新田原ふるさと協議会の全ての集まりに出席してくださっている。

- ・ 今後は、現在地域づくり推進委員等を担当してくれている方々をいかに次の地域の担い手として確保していくかということが課題。
- ・ 柏市ふるさと協議会連合会等に参加したときのことは、資料を作って理事会で報告するようにしている。そうしたときの役割として事務局が大切。

柏市職員

- ・ 事務局に期待したいという会長からのお言葉があったが、事務局の方からはいかがか。

ふるさと協議会役員

- ・ 柏ハイム自治会では社協の補助を受けて、一人暮らしを囲む会を作った。その後、一人暮らしの人たちだけで集まるのではなく、マンション内の他の人たちとも交流を図りたいということで、「けやきの会」という懇親会を発足させた。マンション内にとどまらず、徐々に近隣町会の方々も参加するようになっていった。
- ・ 保健福祉部ができる前に、社協には「けやきの会」はマンションの団体ですよ」とお伝えしたにも関わらず、社協から直接補助金をもらうことができた。その後はふるさと協議会の組織の一つのサロンとして補助金をもらっている。
- ・ 「けやきの会」は基本的には会費制だが、費用が高むときは補助金を使っている。懇親会の他にも東京観光などでまち歩きをしており、8月以外は月一回開催している。
- ・ マンションでは高齢化が進んでおり、一人暮らしをされている方も多い。そういった方々に声をかけて参加してもらっているが、固定のメンバーになってしまう。
- ・ ふるさと協議会の補助金は飲食での支出が対象にならない。参加人数が少ないと対象にならない等の意向が伝わってくるが、親睦を深めるためには、サロンの運営等を対象とした補助金制度について柔軟に検討してほしい。

柏市職員

- ・ 懇親会を通して親睦が深まるというのは個人的には非常に共感す

るところ。

ふるさと協議会役員

- ・事務局として指示を受けたことはこなしているが、本来何をすべきなのか、あり方がわかりにくい。イベントの開催に携わると、成功してよかったとは感じるものの、これが本来の事務局のやるべきことなのか疑問に思う。マニュアルはあるのか。他の地域ではどのような活動をされているのか。

柏市職員

- ・おそらくこれが事務局の仕事だというものはない。他の地域の取組みについて何かわかる職員はいるか。

柏市職員

- ・松葉ふるさと協議会では、会議の進行や役所への申請、調整等裏方業務を事務局が率先して行っている。

ふるさと協議会役員

- ・マニュアルはあるかという話が出ていたが、マニュアルを参考にするよりも、実践の中で理解していくことが望ましい。マニュアルを作っても地域性によって細かい部分が異なってくる。
- ・松葉地域は商店街や学校が中に入っているふるさと協議会なので、他の地域とは性質が異なると思う。

柏市職員

- ・松葉地域では商店街が夏に花火をやっていたが、近年、商店街が離れてしまったことにより、ふるさと協議会の事務局で花火ができるように尽力していた。学校についても先生が代わると考え方も変わってしまうことも多いようなので、事務局の方々が調整をされている。事務局は裏で各部会が動けるように調整をしている。

ふるさと協議会役員

- ・学校では校長が代わるとき、対外的な関わりについては、あまり引継ぎをしていないのではないかと思う。
- ・南部でこずっち会議をやったようだが、そのようにPTAとふるさと協議会が関わりを持つことは非常に重要だと思う。

ふるさと協議会役員

- ・私は今年度から初めてふるさと協議会の活動に携わることになった。これまでに町会活動の経験もない。退職後に自主防災組織の活動に参加し、地域が何をやっているのか初めて知ることができた。地域の人と繋がることが出来て良かった。
- ・ふるさと協議会で活動するようになってから、まだ全体像はつかめていないが、活動されている方々の熱心さに感心した。地域の活動に楽しく参加できるのだということを、広めていきたい。

柏市職員

- ・6つのキーワードには出てこないが、この人だったら一緒に活動したいという人を見つける（一本釣り）が大切だという話が出ていた。今回、木村さんのような方にふるさと協議会に参加していただけたことは素晴らしいと思う。

ふるさと協議会役員

- ・ネットワークを張っているののでいい人材を見つけられた。

ふるさと協議会役員

- ・昨年、アミューゼ柏で地域リーダー研修に参加し、「報酬を出す」という話があった。活動の中でどこまでがボランティアなのか線引きをしていかなければいけないと思う。行政では報酬はまだ出せないという話だったと思うが、ボランティアは有償かそうでないかで責任の度合いがちがってくる。資料の中にあるNPOとはどういうことか。どこから出てきた言葉か。

柏市職員

- ・このNPOとは地域リーダー研修の参加者から出てきた言葉。
- ・NPO法人は市では市民公益活動団体と言い換えている。NPO法に則って、法人格をとるとNPO法人となる。地域協働を考える会もNPO法人の一つと捉えている。そこには市は業務委託している。

ふるさと協議会役員

- ・平野会長の言うNPO法人化というのは、ひまわりの会のような事業は、ふるさと協議会の事業としてではなくて、もっと組織化

したらどうかという話なのかなと思う。ふるさと協議会や町会をNPO化するというのはあまりメリットがない。

ふるさと協議会役員

- ・千葉市ではマンション群で高齢化が進み、福祉の面から金銭的なバックアップを受けるため、町会をNPO化したところがあると聞いたことがある。

ふるさと協議会役員

- ・高齢化も進み、担い手がいないとなると、町会やその事業をNPO化する等の支援を市ではしているのか聞きたい。

柏市職員

- ・豊町東町会の佐野会長は、町会員以外も支え合いの対象できるように、町会とは別にNPO法人を作った。

ふるさと協議会役員

- ・町会員以外に対してどのような対応をしていくか、市と地縁組織が連携し、もっとも検討すべきことは防災について。非町会員だからといって区別はできないため、どうしていくべきか考えていく必要がある。

ふるさと協議会役員

- ・避難所運営委員会の防災アンケート（別紙参照）は、市全体で実施すると防災組織が向上すると思う。近隣センターを中心にぜひ実施してもらいたい。
- ・6つのキーワードでは、やることを増やすことばかりが書かれているが、減らしてうまくいくこともあると思う。
- ・「防災」「福祉」「子ども」がキーワードになると思う。これらについて、市、社協、ふるさと協議会、町会で連携して取り組んでいくことが必要だと思うが、町会への負担が大きくなりすぎることは注意してほしい。
- ・リース防犯灯は、リース開始から10年後以降も継続していくとお話だったと思うが、間違いないか。町会の負担にならないように考えてほしい。

	<p>柏市職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期はいずれ来るので，前向きに考えていきたい。 <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前（平成28年），不動産業者が町会加入についてどのように呼びかけているかの一覧をいただいたが，現在はどうか分かりやすい資料がほしい。 <p>柏市職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に賃貸で，大和ハウスやポラスなどのハウスメーカーがどのように対応しているかという資料だと思う。承知した。
<p>いただいたご意見のまとめ</p>	<p>主に次のような御意見を伺った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の見直しについてご紹介いただいた。 ・住民の方にはふるさと協議会についてまだ理解されていないということについて伺った。 ・柏市ならではのふるさと協議会はいいこともよくないこともあるという話を伺った。 ・市で町会活動をコンサルティングしてほしいというご意見をいただき，事例紹介はできると柏市側からお伝えしたが，事例紹介よりもさらに踏み込んだ支援が必要というご意見をいただいた。 ・けやきの会についてご紹介いただいた。また，市の補助金では，飲食が対象にならないことについて柔軟に扱ってほしいとのご意見をいただいた。 ・初めてふるさと協議会の活動に参加されている木村さんから，ふるさと協議会で活動していて感心することばかり，力になりたいとお話を伺った。 ・有償ボランティアについてお話を伺った。 ・防災のアンケートは全市で実施してほしいとのご意見をいただいた。 ・リース防犯灯の10年後について，町会の負担にならないように考えてほしいとのご意見をいただいた。 ・各不動産会社の町会加入に関する資料がほしいとのご依頼をいただいた。